

めざせ健康あきる野 21 推進会議 (21Step II)

令和4年度の活動 (活動振り返りシート)

令和4年度登録メンバー数：47人

		21 推進会議全体			PR班 (メンバー10人)			チーム食生活レモン (メンバー17人)			ウォーキングII班 (メンバー20人)			
活動目標		<ul style="list-style-type: none"> 第二次計画について広く市民に広める。 推進会議の開催や各班活動の基盤を整える。 			<ul style="list-style-type: none"> 特に若い世代(子育て世代)を中心としたPRをすることで、より多くの人にめざせ健康あきる野21を知ってもらう。 「めざせ健康あきる野21が第二次計画になったこと」、「市民参画で実施していること」、「21推進メンバーを募集していること」についてPRする。 			「健康を考えたバランスのよい食生活を実践するため」に、主食、主菜、副菜がそろった食事、野菜、食塩(適塩・減塩)や朝食について広める。			<ul style="list-style-type: none"> 「コツコツ身体を動かし、運動を続ける」の実現に向け、「あきる野を楽しく歩いて健康づくり」のふれあいウォークを継承する 一人ひとりの身体活動を促す。 			
(準備会等は含まない。)		活動名	回数	参加者数等	活動名	回数	参加者数等	活動名	回数	参加者数等	活動名	回数	参加者数等	
		21 推進会議の開催	12回	メンバー457人	市ホームページでのPR	2回		野菜についての取材 →秋川ファーマーズセンター訪問	1回	5月の班会議 兼ねる	4回	ふれあいウォーク	4回	①第98回：10人 ②第99回：14人 ③第100回：48人 ④第101回：25人
		21 推進会議 代表者会議	4回	メンバー41人 (書面開催含む)	みんなで取り組もう！ めざせ健康あきる野21(第二次) [メンバー募集チラシ]作成	1回		野菜の小冊子作成 →「チーム食生活レモンからのおすすめレシピ総集編」企画、製本、配布	1回	300冊 JAあきがわ本店、各ファーマーズセンター、市施設等	通年	歩いて健康づくり 記録表	通年	提出者：5人
		第25回健康のつどい 「めざせ健康あきる野 21PRコーナー」	1回	メンバー15人 参加者372人	健康仮面のパワーアップアイテム 募集	1回	32人の 応募	バランスのよい食事、減 塩・適塩に関する情報提供 (第25回健康のつどい、 第100回ふれあいウォーク)	2回	21 推進会議 (全体)参照	1回	情報発信(市ホームページ等)	1回	・ふれあいウォーク 第100回の周知 ・ふれあいウォークの軌 跡(歴代コースの紹介 冊子)の配布
		第100回 ふれあいウォーク	1回	メンバー28人 参加者48人	産業祭でめざせ健康あきる 野21(第二次)のPR活動	1回	メンバー4人 775人に配付	レモンだよりの発行	3回	vol 6, 7, 8	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	市ホームページ掲載	1回	レモンだよりの3点	—	—	—	—
活動目標に対する振り返り	良かったこと できたこと	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも定期的に会議を行い、3班協力して全体活動(健康のつどい、ふれあいウォーク100回記念)が実施できたこと。 対面での活動ができたこと。 			<ul style="list-style-type: none"> 産業祭で(コロナのため制限がある中)、直接市民にPRできたこと。 健康仮面のパワーアップアイテムの募集は、子どもや若い世代にも案内ができたこと。 			<ul style="list-style-type: none"> 令和2、3年の書面活動から、季節毎の野菜レシピ&情報を小冊子にまとめることができたことととも、それを元に活動が広がったこと。 メンバーと一緒にやっと活動ができたこと。 			<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続することができ、100回を迎えたこと。 感染予防対策を行い、人数制限がある中でも活動が再開できたこと。 毎回数人、初参加者がいること。 			
	今後の課題・取組	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で活動が縮小してしまった。市民へ21StepII活動を知ってもらう方法を検討していく必要がある。 メンバーの確保。SNSの活用や新たな募集方法を検討していく。 			<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症でイベントがないときに直接市民に対しての周知が難しかった。コロナ以前とは違う、新たな周知方法、周知場所の検討が必要 イベントを通じて周知活動を継続する。 			<ul style="list-style-type: none"> チーム食生活レモンをもっとPRして皆さんに活動を周知したい。 個や小さいコミュニティの傾向が強くなっている今、活動やメンバーを増やす効果的な周知方法や巻き込む手段の検討を行う。 食べること(食べられること)の大切さ、幅広い年齢層にむけた活動を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> 市内の新しいウォーキングコースを考える。 スタッフが減少しているため、増員を図る。 ふれあいウォークの他にも、身体活動を進めるための情報発信や「歩いて健康づくり記録表」の継続などを進めていく。 			
事業目的	活動の目的を理解し、共有しながら進める	よくできた(3)	活動の目的を理解し、共有しながら進める	まあまあできた(2)	活動の目的を理解し、共有しながら進める	よくできた(3)	活動の目的を理解し、共有しながら進める	まあまあできた(2)						
住民参画	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	よくできた(3)	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	まあまあできた(2)	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	よくできた(3)	各メンバーが主体的に、楽しく、事業を考え活動ができる	まあまあできた(2)						
協働	お互いの役割を活かし共に活動する	よくできた(3)	お互いの役割を活かし共に活動する	まあまあできた(2)	お互いの役割を活かし共に活動する	まあまあできた(2)	お互いの役割を活かし共に活動する	よくできた(3)						
総合得点	A:適切(9点)			B:おおむね適切(6-8点)			B:おおむね適切(6-8点)			B:おおむね適切(6-8点)				

